

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

SER no.136; Cover, contents, and others

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-06-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00006055

Senri Ethnological Reports
136

SER 136

国立民族学博物館
調査報告 **136**

Cultural Heritage of China
An Anthropological Perspective

中国地域の文化遺産
—人類学の視点から

河合洋尚・飯田 卓
編

中国地域の文化遺産
—人類学の視点から

Edited by
Hironao Kawai
Taku Iida

河合洋尚・飯田 卓 編

National Museum of Ethnology
Japan 2016



ISSN 1340-6787
ISBN 978-4-906962-42-6 C3039

国立民族学博物館 2016

国立民族学博物館 調査報告

136

中国地域の文化遺産
—人類学の視点から

河合洋尚・飯田 卓 編

国立民族学博物館

2016

目 次

序	飯田 卓・河合 洋尚	1
I 部 基調講演		
第1章 無形文化遺産登録をめぐるせめぎあい — トン族大歌の事例から	兼重 努	21
第2章 「杭州西湖の文化的景観」をめぐる世界遺産登録と市民保護活動 — 文化遺産の再生産	阮 雲星 訳 星野 麗子・姜 娜	51
第3章 フィールドワークで出会う「非物質文化遺産」	劉 正愛	75
II 部 有形文化遺産		
第4章 生きている文化遺産の保護・活用と住民の役割 — 中国雲南省・世界遺産麗江古城を事例に	高倉 健一	91
第5章 先住民族からみた「世界遺産」 — 「紅河ハニ棚田群の文化的景観」の世界遺産登録をめぐって	阿部 朋恒	107
第6章 「世界遺産」と景観再生 — 円形土楼と厝屋の比較研究	河合 洋尚	123
第7章 文化遺産をめぐる空間の競合 — 広東省林寨古村の四角楼を事例として	姜 娜	141
第8章 ユネスコ非加盟の台湾からの世界遺産登録に向けた動き — 社会的文脈によって揺れる文化遺産	藤野 陽平	163

Ⅲ部 無形文化遺産

第9章 「野草」から無形文化遺産へ — 甘肅省蓮花山の花児と花児会	徐 素娟	181
第10章 レプコン芸術の無形文化遺産登録とその後の動態 — 中国青海省同仁県における考察	チョルテンジャブ	203
第11章 文化遺産保護劇団化する百年劇団・西安易俗社の光と陰 — 保護と継承をめぐるある伝統演劇劇団の葛藤	清水 拓野	225
第12章 渦中の無形文化遺産 — 南京市高淳における祭祀芸能の興隆と衰退の事例から	川瀬 由高	247
第13章 中国・黄土高原の暮らしと切り紙の無形文化遺産化 — 窑洞の村のエコミュージアム活動をめぐる〈翻訳劇〉の諸相	丹羽 朋子	271

Ⅳ部 特別講演

第14章 雲南小涼山彝族による盟誓儀礼の意義	庄 孔韶 訳 奈良 雅史	297
総合討論（コメント）	周 星 飯田 卓	315
あとがき	河合 洋尚	325
付録 シンポジウム・プログラム		326
執筆者一覧		328

I. 基調講演

II. 有形文化遺產

Ⅲ. 無形文化遺産

IV. 特別講演

付録

シンポジウム・プログラム

※所属・職は2015年シンポジウム開催当時のものである。

1月24日（土）

開幕式

司会：塚田誠之（国立民族学博物館・教授）

10:00～10:30

館長挨拶 須藤健一（国立民族学博物館・館長）

趣旨説明
（全体）飯田 卓「機関研究『文化遺産の人類学』について」
（中国）河合洋尚「中国地域の文化遺産——人類学的視点について」

基調講演

10:30～11:00 阮 雲星（浙江大学人類学研究所常務副所長・教授）
「杭州西湖文化景観」の世界遺産化とその市民保護活動の底流」

11:00～11:30 劉 正愛（中国社会科学院人類学・民族学研究所・准教授）
「フィールドワークで出会う「非物質文化」」

11:30～12:00 兼重 努（滋賀医科大学・准教授）
「無形文化遺産登録をめぐるせめぎあい——トン族大歌の事例から」

12:00～12:30 コメント・討論
長谷川 清（文教大学・教授）

第I部 中国の有形文化遺産

① 住民の眼から見た世界遺産 司会：韓 敏（国立民族学博物館・教授）

13:30～13:50 河合洋尚（国立民族学博物館・助教）
「「世界遺産」と景観再生——福建土楼と困龍屋の比較研究」

13:50～14:10 高倉健一（神奈川大学・博士後期課程）
「生きている文化遺産の保護と活用——世界遺産・麗江古城を事例に」

14:10～14:30 阿部朋恒（首都大学東京・博士後期課程／紅河学院・客員研究員）
「少数民族からみた「世界遺産」——ハニ族棚田の世界文化遺産登録をめぐる」

14:30～15:00 コメント・討論
横山廣子（国立民族学博物館・教授）

② オルターナティブな有形遺産 司会：奈良雅史（国立民族学博物館・外来研究員）

15:20～15:40 姜 娜（中山大学歴史人類学研究中心・講師）

- 「広東省河源市の客家四角楼—文化遺産をめぐる空間の競合」
 藤野陽平（東京外国語大学・研究機関研究員）
 「ユネスコ非加盟国の世界遺産候補地—台湾の文化遺産の課題と現状」
 コメント・討論
 野林厚志（国立民族学博物館・教授）

1月25日（日）

第Ⅱ部 中国の無形文化遺産

- ① コミュニティと無形文化遺産 司会：吉田ゆか子（国立民族学博物館・機関研究員）
 10:20～10:40 徐 素娟（堺市博物館・非常勤職員）
 「「野草」から無形文化遺産へ—甘肅省蓮花山の花児と花児会に関する考察」
 10:40～11:10 チョルテンジャブ（総合研究大学院大学・博士課程）
 「世界遺産レブコン芸術—青海省チベット族の工芸を中心に」
 11:10～11:30 川瀬由高（首都大学東京・博士後期課程）
 「南京の無形文化遺産「跳五猖」と「小馬燈」—観光資源化と断絶の事例」
 11:30～11:50 コメント・討論
 稲澤 努（東北大学・教育研究支援者）
- ② 技法の伝達と無形文化遺産 司会：宮脇千絵（国立民族学博物館・外来研究員）
 12:50～13:10 清水拓野（神戸女学院大学・講師）
 「文化遺産化する伝統演劇の劇団：結成百年の西安易俗社の歩み」
 13:10～13:30 丹羽朋子（国立民族学博物館・共同研究員）
 「黄土高原のヤオトン暮らしと切り紙の継承—エコミュージアム活動を事例に」
 13:30～14:00 コメント・討論
 梶丸 岳（京都市立芸術大学・特別研究員）

第Ⅲ部 特別講演・総合討論

司会：河合洋尚（国立民族学博物館・助教）

- ① 特別講演
 14:15～15:00 庄 孔韶（浙江大学人類学研究所長・教授）
 「雲南省小凉山における盟誓儀礼の意義」（中国語／日本語通訳あり）
- ② 総合討論
 15:00～16:00 ディスカッション：飯田 卓（国立民族学博物館・准教授）
 周 星（愛知大学・教授）

執筆者一覧

●編者

河合洋尚 (かわい ひろなお)	国立民族学博物館・助教
飯田卓 (いいた たく)	国立民族学博物館・准教授

●執筆者 (執筆順)

兼重努 (かねしげ つとむ)	滋賀医科大学・教授
阮雲星 (げん うんせい)	浙江大学人類学研究所・常務副所長
劉正愛 (りゅう せいあい)	中国社会科学院人類学民族学所・教授
高倉健一 (たかくら けんいち)	神奈川大学・博士後期課程
阿部朋恒 (あべ ともひさ)	首都大学東京・博士後期課程
姜娜 (きょう な)	中山大学歴史人類学研究中心・講師
藤野陽平 (ふじの ようへい)	北海道大学・准教授
徐素娟 (じょ そけん)	堺市博物館・非常勤職員
喬旦加布 (ちよるてんじゃぶ)	総合研究大学院大学・博士後期課程
清水拓野 (しみず たくや)	関西国際大学・准教授
川瀬由高 (かわせ よしたか)	首都大学東京・博士後期課程
丹羽朋子 (にわ ともこ)	人間文化研究機構・特任助教
庄孔韶 (しょう こうしょう)	浙江大学人類学研究所・所長

●ディスカッサント

周星 (しゅう せい)	愛知大学・教授
-------------	---------

●翻訳者

奈良雅史 (なら まさし)	北海道大学・助教
星野麗子 (ほしの れいこ)	総合研究大学院大学・博士課程

Senri Ethnological Reports (最新号)

当館のウェブサイトにてバックナンバーのPDFをダウンロードすることができます。

<https://minpaku.repo.nii.ac.jp/>

- No.135 Культура народов Сибири и Дальнего Востока в музейных коллекциях России и Японии методы сбора, учета, хранения и экспозиции (2016; Ред. Шагланова Ольга А., Сасаки Сиро (シヤグラノヴァ О. А.・佐々木史郎編); ロシア語)
- No.134 国立民族学博物館所蔵 鍋沢元蔵ノートの研究 (2016; 中川 裕・遠藤志保編; 日本語)
- No.133 *An Audiovisual Exploration of Philippine Music: The Historical Contribution of Robert Garfias* (2016; ed. Terada Yoshitaka; 英語)
- No.132 環北太平洋地域の先住民文化 (2015; 岸上伸啓編; 日本語)
- No.131 カナダ先住民芸術の歴史的展開と現代的課題——国立民族学博物館所蔵のイヌイトおよび北西海岸先住民の版画コレクションをとおして (2015; 齋藤玲子編; 日本語)
- No.130 梅棹忠夫の内モンゴル調査を検証する (2015; 娜仁格日勒編; 日本語)
- No.129 *Asian Museums and Museology 2014: International Workshop on Asian Museums and Museology in Thailand* (2015; eds. Naoko Sonoda, Kyonosuke Hirai, Jarunee Incherdchai; 英語)
- No.128 *Культурное наследие бурят, эвенков и семейских: Предметы материальной и духовной культуры из коллекций Этнографического музея народов Забайкалья (Республика Бурятия, Россия)* (2015; Шагланова Ольга А., Сасаки Сиро (シヤグラノヴァ О. А.・佐々木史郎編); ロシア語・英語)
- No.127 近代社会における指導者崇拜の諸相 (2015; 韓敏編; 日本語)
- No.126 パウイナンガ・アボリジナル組合の議事録 (1978～1994) から見る対アボリジニ政策とインフラ整備の歴史——マニングリダと周辺アウトステーションの活動史 (2015; 久保正敏・堀江保範編著; 日本語)
- No.125 *Asian Museums and Museology 2013: International Research Meeting on Museology in Myanmar* (2015; eds. Naoko Sonoda, Katsumi Tamura, Nu Mra Zan; 英語)
- No.124 土方久功日記V (2014; 土方久功著, 須藤健一・清水久夫編; 日本語)
- No.123 *Некоторые археологические находки Монголо-советской экспедиции под руководством С. В. Киселева: Городище Каракорум, коллекция Государственного Эрмитажа* (2014; Ред. Юки Конагая, Автор Ю. И. Елихина (小長谷有紀編, J. I. エリーヒナ著); ロシア語・英語)

[国立民族学博物館刊行物審査委員会]

須藤健一 館長
岸上伸啓 副館長
吉田憲司 副館長
西尾哲夫 民族社会研究部
池谷和信 民族文化研究部
寺田吉孝 先端人類科学研究部
鈴木七美 研究戦略センター（研究出版委員長）
野林厚志 文化資源研究センター

平成28年3月22日発行

国立民族学博物館調査報告 136

編著者 河合洋尚
飯田卓

発行 人間文化研究機構
国立民族学博物館
〒565-8511 吹田市千里万博公園10-1
TEL. 06(6876)2151(代表)

印刷 株式会社 遊文舎
〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-17-31
TEL. 06(6304)9325(代表)
